風の木クリニック　カウンセラー紹介

■現在、当院には７名のカウンセラーがいます。
星野紀子、立花有子、市島未都、興津祥子、義達理絵、粒良知加、伊藤智美
■年齢、経歴、資格は様々ですが、全員、高橋和巳医師の指導を受けて、心の深いレベルでのカウンセリングができると認定されたカウンセラーです（風の木クリニック認定カウンセラー）。
■現在も必要に応じて高橋医師のスーパーヴィジョンを受けてカウンセリングを実施しています。
■下記に記載した自己紹介文を参考にカウンセラーを選んで相談ください。
カウンセラー名の右にあるメールアドレスをクリックするとカウンセラーにつながり、予約の問い合わせができます。
■以下の自己紹介文の掲載は年齢順になっています。

星野紀子　1958 生　mailto:counseling1@kazenoki.jp

毎週火曜・第 2/4 土曜

◆「心って何だろう。どこに有って色は有るのかな」「人生って何だろう。良い人生って何だろう」…と漠然とした疑問を持つなか「カウンセリング」に出会いました。私はカール・ロジャーズを出立点に「傾聴」を学び・実習し心理カウンセラーの資格を取得しました。その後高橋医師に出会いスーパーヴィジョンを受け（「目から鱗」の衝撃を今でも鮮明に覚えています）「心」の理解を深めたいと強く思うきっかけとなりました。◆「エンカウンターグループのファシリテーター」「NPO 法人カウンセリング相談室責任者」「市役所 こころの相談員」「ビフレンダーズ夜間の電話相談」「ドキュメンタリー映画の自主上映会の実施」等を経て、当クリニックの受付として勤務し、風の木クリニック認定カウンセラーになりました。◆そんな私が現在も多くの方と出会う中で、「人って、人生って動くん だ。変わるん だ」「人は言葉を魂から発せられる。それが他人と呼応・シンクロした時に共に大きな喜びや感動となり、これからの人生を進んで行く」と感じます。その感動は私にとって「かけがえのない宝物」となっています。◆心はあなたといつも一緒に居ます。そして、あなた自身の言葉であなたの心に語りかける時を静かにあなたの心は待っています。そのお手伝いをせて頂きたいと思っています。◆どうぞ宜しくお願い致します。

立花有子　1967 生　mailto:counseling12@kazenoki.jp

毎週水曜

◆東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻修士課程修了の時に「「心理的ネグレクト」という不適切な養育環境で育った被虐待者の心理状態についての研究―「心理的ネグレクト」チェックリスト作成の試みー」という論文をまとめました。心理的ネグレクトに関心があり、当クリニックのスタッフから認定カウンセラーとなりました。◆近しい人の死を経験してから、人はなぜ生まれ、生き、そしてやがて死んでいくのかという人間存在の探究をしてきました。◆いまは成長した２人の子どもの母ですが、子育てに自信がありませんでした。けれど自分自身の心を深く見つめていくことで、自分の中にある気持ちに気づいていきました。すると現実の世界も変わっていくようになりました。◆「自己自身に優しくなりなさい。あなたは木々や星々と同じ宇宙の子である。あなたにはここにいる権利がある…」と続く詩が、私は大好きです。自分自身に優しくなると、人にも優しくなれるような気がしませんか。１人きりで考えていると、同じところをぐるぐると回ってしまいます。人と話すことで気持ちが流れていきます。◆生きづらさを感じたり、緊張や不安をつよく抱えたり、親との関係や子育てに悩んでいらっしゃる方などご相談ください。丁寧にお話をお伺いします。

市島未都　1969 生　mailto:counseling7@kazenoki.jp

第１月曜

◆臨床発達心理士・公認心理師◆大学の心理教育学科卒業後、学校法人の教員を経て、日本女子大学大学院人間社会研究科教育学専攻博士課程前期へ進学し、特別支援教育とナラティヴ（語り・物語）アプローチを探究。情緒障害を抱える児童への心理的支援に携わるとともに、家庭教育の意味づけをテーマに、母たちのナラティヴ分析を行いました。◆大学院修了後は、神奈川県内の行政機関・医療機関にて、発達アセスメント・親子相談・心理カウンセリングを担当しています。お子さんの発達や子育て不安、不登校、思春期問題、家族関係に関するご相談をお受けする中で、高橋医師に出会い、カウンセリング・スーパーヴィジョンを受けるようになりました。◆プライベートでは、愛犬との海散歩に癒されています。妻として、２児の母として、娘として、様々なライフイベントを経験してきました。生きることは心が旅するようであり、スーパーヴィジョンを受けながら、自分の心の位置に気づき、新しい景色に出会い、今に至ります。◆心が疲れてしまった時には、どうぞ、お話をお聞かせください。ご一緒に「心の地図」を眺めてみませんか？焦らず、ゆっくりと、ご自身のペースで、心の旅を続けてまいりましょう。

興津祥子　1974 生　mailto:counseling4@kazenoki.jp

第４月曜

◆公認心理師・精神保健福祉士・産業カウンセラー◆慶應義塾大学総合政策学部卒業。同大学院在学中より、主婦の社会復帰を支援するネットワークを立ち上げ、再就職支援に携わりました。産業分野での研修や面接相談等に従事する中で、より“個人”の心を深く理解することや家族関係の重要性を痛感し、カウンセラーを目指しました。◆精神科病院のソーシャルワーカー（デイケア・認知症病棟）、福祉事務所の精神保健福祉支援員を経て、2017 年にコスモスパーク・カウンセリングを開設。風の木クリニックでは 2015 年より開業後も並行して、カウンセラーをつとめております。プライベートでは観劇を趣味としています。◆ご相談の最初の入口となる内容は幅広く承っていますが、悩みをひも解くにつれ、本質は家族・親子関係にたどりつく方を多く担当してきました。カウンセリングを通じて自分を知り、人生の“支点”が変わることで、自由に生きる可能性を広げられると感じています。◆ぜひ、お話をうかがわせてください。

義達理絵　1987 生　mailto:counseling11@kazenoki.jp

第３月曜・第1/3 土曜

◆東京学芸大学大学院教育学研究科学校心理専攻臨床心理コースを修了後、療育機関や精神科クリニックでの勤務を経て、練馬区子ども家庭支援センターで１１年間の相談業務を行なってきました。同センター退職後に当クリニックのカウンセラーとなりました。◆臨床心理士、公認心理師。◆これまで、子どもの育てづらさ、発達障害、不登校、思春期の対応など子育てに関する相談のほか、実の両親や義実家、配偶者とのやりとりの難しさなど、家族に関する相談も受けてきました。どんな問題であっても相談の中で「自分と相手」をより深く理解することで、気持ちは楽になっていきます。◆家族や友人、職場での関係など、つながりの中で人は悩みを抱えます。課題が整理されていなくても構いません。「恵まれた環境にいるのに、どうしてうまくいかないのだろう」そんなご相談でも、話すことで見えてくるものがあります。今抱えているその不安がどこから来るのか、一緒に整理していきましょう。

■以下の２名のカウンセラーはオンライン（Zoom）専用です。

粒良知加　1978 生　mailto:counseling3@kazenoki.jp

水曜日

◆臨床心理士・公認心理師◆立教大学文学部心理学科（当時）卒業後、上場企業に就職。主婦を経て大学院へ。修了後は主に医療分野の心理職として単科精神科・クリニック等にて勤務しました。2021 年より宇都宮市内にて Arc 心理オフィスを開業し、おおよそ年間延べ 1000 セッションを行っています。◆理論背景は、高橋医師の提唱する『見立て８型』および『精聴技法』に加えて、精神分析（対象関係論）的理論を学んでいます。◆いくつかの治療を経ていても、症状が遷延化していたり反復的に繰り返す方との出会いが多くなっています。ご自分とじっくり向き合いたい方、その必要があると感じられる方はどうぞご連絡をいただければと思います。また大きな不調はなくても自分の人生に不全感があり、より良い生き方を模索してみたいという方も歓迎いたします。Zoom セッションのため遠方の方もお気軽にお問い合わせください。◆趣味はインドの伝統的文化を学び、体験することです。

伊藤智美　1984 生　mailto:counseling6@kazenoki.jp

月・水曜日の午前中

◆お茶の水女子大学大学院発達臨床心理学コース博士前期課程を修了した後、船橋市子育て支援センターで 10 年、千葉市保健センターで５年の勤務を経て、当クリニックカウンセラーとなりました。臨床心理士、公認心理師の資格を持っています。プライベートでは３人の子どもの母として、子育てに奮闘中の毎日です。◆これまで、不登校・かんしゃく・子どもの発達・抜毛症や小児自慰、育児不安等の子育てに関する相談を受けてきました。また、虐然とした不安や敏感さ、生きづらさを抱えた方、親との関係に悩む方の相談も受けてきました。◆人のこは正しく理解されると、安心してより自由に動くようになります。心が変わっていくと行動も自然と変わっていき、結果として、今抱えている悩みがなくなっていきます。◆誰かに自分の心の内を話すことはとても勇気のいることです。感じてはいけない気持ちはありません。丁寧にお話を聴かせていただきます。ぜひ、ご相談ください。

風の木クリニックのHPに戻る